

## 肺の生活習慣病の克服を目指した医療ネットワークの構築

### －喫煙関連呼吸器難病に対する前向きコホート研究－

肺の生活習慣病は喫煙習慣による慢性気管支炎と肺気腫を併せた COPD や間質性肺炎、肺癌が代表的です。COPD は WHO の調査によると 2020 年には死因の第 3 位にまで増加する程たくさんの方の生命を脅かす病気ですが、詳しいことはわかっておりません。間質性肺炎は様々なタイプがありますが、診断を付けること自体も非常に難しい病気です。COPD も間質性肺炎も時に急性増悪を来し命に関わる状態になることがあります。その診断と治療もとても難しいのが実状です。

それらの疾患の克服を目指して、福岡県下 4 大学の 6 大学病院、関連病院による多施設共同での肺の生活習慣病研究ネットワークを設置し、ネットワークを通じて 1000 例の肺の生活習慣病に関する症例コホート(前向き観察研究)を構築するのが、この臨床研究の目的です。その上で、①コホート研究を通じた肺の生活習慣病の実態調査、②ネットワークに登録された患者さんの診療連携、③禁煙の促進活動、④肺の生活習慣病に対する医療者の認識を高める活動と診療レベルの向上を目指した活動、を行います。

本試験は、国が定めた「臨床研究に関する倫理指針」を遵守し、当院での臨床研究倫理委員会(臨床研究の実施または継続について、倫理的観点及び科学的観点から調査及び審議する委員会)においてその科学性・倫理性について厳重に審査され、病院長の承認を受けて実施されます。